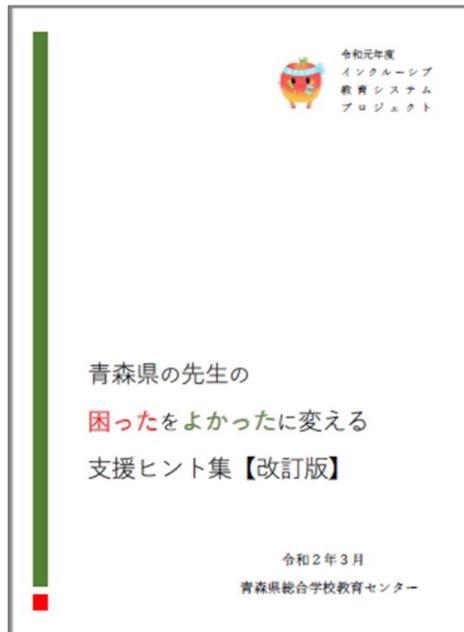


# 特別な配慮を必要とする 生徒への支援



支援ヒント集を  
用意してください♪

# 特別支援教育の理解の必要性

通常の学級にも、障害のある生徒のみならず、教育上特別の支援を必要とする生徒が在籍している可能性があることを前提に、全ての教職員が特別支援教育の目的や意義について十分に理解することが不可欠である。



# 中学校学習指導要領解説 (平成29年7月)

## 総則編 第4節 生徒の発達の支援

### 2 特別な配慮を必要とする生徒への指導

#### (1) 障害のある生徒などへの指導

##### ① 生徒の障害の状態等に応じた指導の工夫

(中略) また、集団指導において、障害のある生徒など一人一人の特性等に応じた必要な配慮等を行う際は、教師の理解の在り方や指導の姿勢が、学級内の生徒に大きく影響することに十分留意し、学級内において温かい人間関係づくりに努めながら、「特別な支援の必要性」の理解を進め、互いの特徴を認め合い、支え合う関係を築いていくことが大切である。

# 発達障害を含む障害のある幼児児童生徒に対する教育支援体制整備ガイドライン

文部科学省

- 教育上特別の支援を必要とする児童等だけでなく、全ての児童等にとって「分かる、できる、楽しい授業」に
- 個別の支援について、周囲の児童等に説明を行う際は、困難さや苦手さについて理解を求めるのみでなく、その児童等の良さや頑張り等の良い面を積極的に伝える

# 学級づくり、環境整備の工夫

- 理解のゆっくりさや失敗をからかう雰囲気がなく、お互いにサポートし合うようなクラスづくりがなされている
- 学習の約束事（休み時間の中に次時の授業の準備等）を決めている
- 集中を妨げる可能性のある音や目に入る物などを調整している
- 黒板やまわりの掲示は、余計な情報（授業に関係のない情報）がない状態になっている
- 共有で使う物の置き方や場所が決まっている
- 授業の流れや活動の手順を提示するなど、見通しがもてる工夫をしている

# 授業づくりの工夫①

- 本時のねらいや活動を絞り、生徒にしっかりと伝えている
- 注目することを促してから指示を出している
- 1回の指示で一つの内容を伝えている
- 「これ」「それ」「あれ」「どれ」等の抽象的な表現を避け、具体的に指示している
- 授業の最後に1時間で学習した内容を整理し確認している
- 生徒の活動に対して「いいね」「よくできたね」等の肯定的な言葉をかけている
- 絵や図等の視覚的な手がかりを用意している
- 板書の文字（大きさ）、チョークの色、配置等を工夫している

# 授業づくりの工夫②

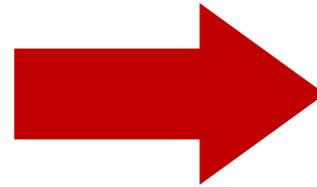
- 言葉だけの説明ではなく、図示する、演じる等の方法を用いて、理解を促す工夫をしている
- ねらいに沿った授業の進め方や体験の内容など、授業の展開が工夫されている
- 達成までのプロセスに細やかな段階がある
- ペア学習やグループ学習等の活動を取り入れ、学び合う機会を設けている
- 教科の系統性を利用して、前の段階では理解が十分でなかったことや、再度確認を行う必要があることなどについて、復習する機会を設けている
- 学んだことを別の課題に適用したり、実生活で活用したりすることができるような工夫をしている

# かかわる側が見方・考え方を変える

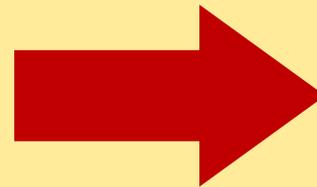
困った生徒



困っている生徒



何度言ったら  
分かるんだ！



今日はここまで  
できたね。

教師の言葉掛け

# 例：グループ活動への参加が難しい生徒 (1/2)

相手の気持ちを考えない発言をしたり、一方的に話し続けたり...



他の生徒と全く関わろうとしないんです...

✓その生徒なりの**理由**や**きっかけ**が必ずあります

✓中学校段階であれば、本人に困っていることがないか尋ねてみてもよいでしょう

## 困った行動の理由

- グループ活動で何をしたらよいのかわからない？
- 相手の気持ちを推し量ることができない？
- 集団での活動への不安がある？
- 周りのやりとりについていけない？

# 例：グループ活動への参加が難しい生徒 (2/2)

## 支援の視点

- 事前に手順や役割を示す
- かかわり方のルールを教える
- 参加しやすい環境づくりをする
- 相手に配慮した伝え方をする

## 【支援例】

- ✓ 座席の配置や、グループメンバーなどを工夫して、本人がよりよく周囲と関わることのできるグループ編成を考える。
- ✓ 話し合いやすい話題や課題を意図的に掲げ、議論したり、教え合ったり、認め合ったりする機会を設ける。
- ✓ グループでの活動について振り返る時間を設け、うまくいった点やこうすればもっと良かった点などについて話し合い、お互い認め合えるような雰囲気をつくる。

# 支援を考えるときのポイント

- 問題となっている行動の理由やきっかけに注目する
- それに応じて、子供を変えようとするのではなく、周囲の環境（人、物、ルール等）を調整する

## 合理的配慮の考え方

- 合理的配慮は、障害のある人から、社会の中にあるバリアを取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられたときに、負担が重すぎない範囲で対応することが求められるものです。
- 学校における合理的配慮については、支援ヒント集P.25~26を参照ください。